

講評と対策

平成28年度

四天王寺高等学校

入学試験問題



国語

問題内容

配点

出題の意図

1 評論 佐藤 俊樹 「桜が創った『日本』」 (岩波新書)	40点	文章の構成を考え、内容を理解する。複雑な評論文を内容を対比していき、表面上の内容だけでなく、内面的な概念をも理解し自己のものにしていく。
2 小説 川畔 一二 「悲劇の境界」	40点	多感な女性がふたり。それぞれの気持ちを持ち舞台で演技をしている。二人の心の内面を整理し、読み取っていく。
3 古文 「住吉物語」 (新編日本古典文学全集 小学館)	20点	母の死を経験して、心動く姫君の心情を描いた作品。人間関係の整理。内容の把握を問うた。

各問題講評（具体的に）

- (一) 問題文は出題にあたり、一部省略している。
- 問一 漢字書き取り問題。正答率50%。意味がとりにくかったのであろうか、「超然」の誤答が多かった。「講」が「構」の誤答も多かった。
- 問二 視点を問う問題。正答率90%。
- 問三 表現の裏面の理由を問う問題。正答率80%。
- 問四 空欄補充。論理を解くキーワードを問う問題。正答率50%。
- 問五 物の見方を検証する問題。正答率60%。
- 問六 語句を組み合わせて空欄補充をする問題。正答率50%。
- 問七 文章の接続を問う問題。普段使っている語句であるがあらたまって考えてみると難しくなった。正答率40%。
- 問八 論点の中心問題。正答率70%。答え方にはいろいろあるので採点は広く取った。
- 問九 この文章のテーマと言うべき問題。正答率40%。
- 問十 空欄補充問題。正答率60%。
- 問十一 一文補充問題。正答率20%。

- (二) 問題文は出題にあたり、一部省略している。
- 問一 漢字書き読み取り問題。正答率60%。普段使う言葉であるが読めなかったり、書けなかったりする。
- 問二 物語の構成、時程を問う問題。正答率70%。
- 問三 登場人物の動きから心情を読み取る問題。正答率70%。
- 問四 具体的な動きを探す問題。正答率50%。「下手」の意味が理解できていない答案が多かった。
- 問五 空欄補充。登場人物の動き気持ちを理解して解答をつくる。正答率80%。
- 問六 動きから心情理由を問う問題。正答率25%
- 問七 心情問題 正答率50%。「情念」という語の意味

- から答えを探せていない。
- 問八 心情問題。正答率30%。
- (三) 古文は中学時の履修が「古文に親しむ」レベルであるため、特別な古典知識を必要としない形で、内容の把握を中心に出題している。
- 問一 現代語ではどのような意味になるかを問う問題。正答率80%。
- 問二 母親の心情を問う問題。正答率20%。残していく姫君に対する気持ちは難解で合ったようだ。
- 問三 内容問題。正答率40%。
- 問四 登場人物を整理する問題。正答率80%。
- 問五 古文の基礎知識を問う問題。正答率70%。
- 問六 古文の基礎を問う問題。正答率80%。
- 問七 登場人物の心情を問う問題。正答率50%。

次年度入試 アドバイス

まず問題文をしっかり読み、把握し正しく理解するようにしてください。評論文は文章構成をよく把握して読み進んで下さい。小説は人物の心情を会話文や動きから読み解いて下さい。また、問題の意図はどこにあるのかをつかんでください。解答の仕方も問題をしっかり読んで間違いのないように注意してください。

日ごろから文章を読むことをしてください。日々の新聞、小説、だけでなく、新書で評論などにも接してください。そうすることによって国語力が増すだけでなく、自己の進路を決定するのにもおおいに役立ちます。また、読むときには辞書を横に置き、わからない単語はこまめに調べて下さい。

社会

問題内容

配点

出題の意図

1 地理分野 (ユーラシア大陸の地誌)	20点	ユーラシア大陸のいくつかの国について統計資料など用いて基本的な知識を問うた。
2 地理分野(九州の地誌)	10点	九州地方に関する基本的な知識を問うた。
3 歴史分野 (古代～近世の歴史)	20点	古代の都から近世の都市へ 7世紀以降の都の変遷と文化 京都・大阪の歴史について問う。
4 歴史分野(古代中国文明)	5点	古代中国の国々に関する基本的な知識を問う。
5 歴史分野(二つの世界大戦)	15点	第一次世界大戦と第二次世界大戦、二つの大戦間の状況を問う。
6 公民分野(政治・経済の問題)	20点	新聞を題材にして、政治・経済分野の知識などを幅広く問うた。
7 公民分野(時事問題)	10点	地理分野の知識を含めて2015年におこった出来事について問う。

各問題講評(具体的に)

- 1 多少難易度が高い気候のデータの読み取りも含めて正解率は高かったが、問4は正解率が低かった。原油の輸出货量が多だけで、サウジアラビアと思いきんだ受験生が多かった。
- 2 全般的に正解率は高かったが、意外と問1の地名の正解率が低かった。
- 3 問3=奈良時代・平安時代の東アジア世界について正答率が非常に低かった。
問4・問5(3)=歴史的順序(流れ)を問う問題
正答率が目立って低かった。
問6(2)ii・iii=身近なはずの京都と大阪について識別できていない者が多かった。
- 4 全体的に正解率は高かった。問3と問4の正答率がやや低かった。
- 5 全体的に正解率は高かった。問2(2)と問3の正答率がやや低かった。
- 6 全体的に正解率は高かった。問1-3の「介護」の正解率がかなり低かった。問4と問5の正解率がやや低かった。
- 7 全体的に正解率は高かった。よく時事問題の対策をして受験していると感じた。

次年度入試 アドバイス

【地理分野】

地名については地図でその場所をしっかりと確認しておくこと。地理は様々な内容が出題され、地理用語を答えるだけではなく、統計資料やグラフ、写真などを用いた問題も出題されます。用語を丸暗記するだけではなく、データを読み取ったり、その内容を理解することを目標にした学習を心がけてください。

【歴史分野】

時代の流れを問う問題は受験生にとって難問なのか正解率が低い傾向にある。ひとつひとつの事象を個別に「覚える」のではなく、「時代」を意識して、歴史の「流れ」をとらえる学習が望まれる。また、日本の歴史は常に海外との交流の上に成り立っていること念頭に置いて、「日本」を取り巻く対外情勢について、時代ごとに学習、整理しておくことが望ましい。

【歴史分野】

世界のある地域を勉強する際に、重要項目や流れに注目するとともに、その地域の場所や主要都市を地図で確認しながら勉強するように心がけてほしい。また、同時期の他の地域の国や場所、位置関係、両地域間の交流にも注目してほしい。

【公民分野】

政治分野の勉強だけでなく、保険の制度や経済分野などもしっかり勉強をして、幅広く学習するようにして欲しい。新聞やニュースなどに関心を持って学習して欲しい。地理や歴史などの他の分野との関連に注目して学習しておいてほしい。

【全般】

地理分野・歴史分野・公民分野を全体的にバランス良く学習することが求められる。普段から教科書だけではなく、地図帳・資料集・新聞なども活用して、幅広い知識を身につけるような学習をして欲しい。

数学

問題内容

配点

出題の意図

1 計算問題・連立方程式	20点	式の計算、因数分解などの基本事項の確認。
2 平面図形	24点	平行線の性質・相似の理解。
3 確率	15点	題意を理解し、いろいろなケースを想定できるか。
4 2次関数	15点	直線と放物線に三角形の面積を絡めて総合力を見る。
5 放物線と円周角	15点	放物線の形状と円の性質を絡める統合力を問う。
6 空間図形	11点	空間図形をとらえる感覚を問う。

各問題講評

全体として、65%程度のでき具合であった。

- 90%の正答率であった。全問完答したい問題である。(3)は、 $x-2y=X$ とおいて、 X^2+X-12 を因数分解すれば解決する。(4)は、AさんBさんの速さを x,y と置いて連立方程式を作ればよい。
- 70%の正答率であった。(1)では底辺と高さを考えていけばよいであろう。[ウ]の正答率が40%で悪かった。(2)は[ア]がヒントになるであろう。[ウ]の正答率が50%で少し悪かった。 $\triangle BCM$ から $\triangle BDP$ を引くと考えればよいだろう。
- 50%の正答率であった。(2)は1通りしかない。(2)(3)ともに、まず4回目の出し方から考えていくとよい。(3)の正答率は15%程度であった。
- 60%の正答率であった。(3)は出来が悪く正答率は25%程度であった。 $\triangle OAE$ の面積と $\triangle ABE$ の面積が等しいことを利用すれば3点F,A,Eのy座標の差に注目して解決する。
- 60%の正答率であった。 $\angle ABO=90^\circ$ だから3点A,B,OはAOを直径とする同一円周上にあることを意識して解けば完答できるであろう。
- 6割強の正答率であった。(2)は3割程度の出来であった。2つの四角すいと三角柱に分けて体積を求めればよい。

次年度入試 アドバイス

例年、中学1年から3年までの全分野よりかたよりになく出題し、正確な計算力が身につけているか、基礎事項が理解されているか、題意を読み取り論理的に考えていくことができるか、を試すことができるように作成している。正確な計算力と柔軟な思考力が試されるので、すばやく計算する練習と、すぐにあきらめずじっくりと考える練習を2つの柱として準備をしてほしい。三角形の相似、合同、面積、文章から連立方程式や2次方程式を立てて解く問題、立体図形、場合の数、確率などは、よく出題されているので特に力を入れて勉強しておこう。しかし、難問などを練習する必要はなく、標準問題を中心にごどのような基本的事項が使われているのかを確かめながら勉強しておくことが最も有効な対策である。その際、ケアレスミスに注意してほしい。「符号のミス」、「比を書くときに、左右を間違っている」、「もう因数分解できないか」など、気をつければ点を落とさなくてすむミスが多く見受けられる。また、過去の問題は必ず解いておこう。解くときは、時間配分に注意し、解ける問題が時間不足でできなかったということのないようにしよう。

理科

問題内容	配点	出題の意図
1 人体における消化と血液循環	10点	脂肪の消化についてその器官と酵素について問う。また、人体の血液の循環について理解を問う。
2 NaHCO_3 の熱分解	17点	炭酸水素ナトリウムの熱分解を題材に、実験の基本操作と反応で生じる物質の性質について問う。炭酸銀の分解についても数値的に問うた。
3 物体にはたらく力	25点	物体に働く力について、浮力を通して物体にどのような大きさの力がどの向きにはたらくか、その理解を問うた。
4 天体	13点	地球から月を見た際にどのような視直径でどう満ち欠けするかを問う。月から地球や他の恒星を見た様子を、知識を応用して考える力を問う。
5 植物の光合成	15点	実験をとおして光合成のメカニズムを問う。
6 物質の量関係	8点	溶解度の計算を文字式で、燃料電池については実験で問うた。また、中和についての量関係をグラフの形で問うた。
7 気象	12点	基本的な気象観測ができるかの確認。湿度と蒸気量の計算および露点とは何かがわかっているかの確認。

各問題講評

- 比較の簡単で70%位の正解率であった。問題文を読まずに記号の選択を間違っている例が多くあった。
- 60%位のできであった。(1)でガスバーナーの空気調節ねじを回す方向を理解していないものが多い。(6)で酸素原子と酸素分子の区別ができていないため10個という誤答が多かった。化学反応において、反応前後の各原子が保存されること、各物質についての正確な知識を身につけることが望まれる。
- できが悪く25点中10点くらいと思われる。(2)の⑥で重さ(重力)と質量の区別ができていない。(6)Cの浮力を考えず17.5Nとする誤りが多く見受けられた。
- (1)で比例計算をする際、単位の換算に苦労していた(3)ii)①月からは太陽が見えていても星が見えることを知らない答案が多かった。月に大気がないと言うことを考えていない。ii)②図4をそのまま使いPを答えとした誤答が多かった。地平線は天球の中心を通るように引いて考えるべきである。
- 実験の結果から考察を行う問いであったが、実験の結果だけからでは考察できない事実を、自分の持っている知識をすべて使って答えている答案が目立った。指定された条件をしっかりと確認して答えてほしい。
- 正答率は50%以下であった。(3)のi)のように中和の量関係を H^+ の数で問うた場合の正答率はよいが、問い方を変えた沈殿の質量については出来具合がよくなかった。(2)の燃料電池については、放電の際、気体の量がどうなるかについては出来具合がよくなかった。必要ならばグ

- ラフ等も用いてなぜそうなるかを十分考える必要がある。
- 比較的良好できていて70%位のできであった。(1)(2)では、風向きは風上側の方向ですが風下側と答えた誤答が多かった。(3)気圧とは何が原因で生じているのかを理解していれば、標高が低いほど気圧が高いイメージがわくはずであるが、 $970-42=928\text{hpa}$ とした誤答が多かった。晴天時の気圧が928hpaとは低すぎて違和感があるはずである。

次年度入試 アドバイス

以下に理科の対策を列挙しておくので、しっかり準備しよう。

- ☆ 中学の理科で学ぶ重要な「用語」や「化学式」、「単位」などを正確に理解すること。
- ☆ 特に本校では実験や観察に関する問も多いので、教科書で扱われている実験については、実験操作の意味もしっかり理解し、積極的に実験を体験すること。またデータの処理に関し、グラフの作成や読み取り、計算力をつける学習を大切にすること。
- ☆ 生活の中で体験する身近な現象などに、日頃から関心をもつよう心がけること。
- ☆ 過去の問題を解いて「問題形式」や「解答方法」などに慣れるとともに、問題文をしっかり読み取るトレーニングをすること。
- ☆ 記述題では、理科の用語を的確に用いるとともに、わかりやすい表現が出来るよう心がけること。

英語

問題内容

配点

出題の意図

I 長文 (エッセイ)	20点	英文読解と内容把握力をみる
II 長文 (エッセイ)	25点	英文読解と内容把握力をみる
III 会話文	14点	対話形式の文の読解力をみる
IV 2文同意	10点	単語力と表現力をみる
V 整序	6点	英文の構成力をみる
VI 英作文	6点	英文の構成力をみる
VII 語彙	3点	単語力と表現力をみる
VIII 発音	5点	音声の定着度をみる
IX 発音	6点	音声の定着度をみる
X アクセント	5点	音声の定着度をみる

各問題講評

- [I] プライバシーにこだわらないことにより得られる楽しみがあるというエッセイ。問1は下線部の説明を求め問題であるが、その説明となる部分を読み取っていない解答が多かった。問2では、keep A from doing の形があまり定着していないようであった。問7の下線部和訳では文の構造を捉えられていない、また、単語をきちんと覚えていないと思われる解答が多かった。
- [II] 「主夫」をテーマにしたエッセイ。問2の数字の読み方は慣れていないのか正答率は低かった。問3では目的を表す不定詞を捉えられていない訳が目立ち、現在進行形の「～しつつある」という内容を表す際にやや稚拙な日本語になっていた。問6は that message の内容であるが、これはどの部分かはよく読めており、文の構造も把握して解答できていた。全体的に [I] と比べると正答率が低かった。
- [III] 中国出身の人に、アメリカでの大学生活や現在の職業、趣味に関する質問をするインタビュー形式の対話。長めの対話文に慣れてない、あるいは対話での答えに対する問いかけを選ぶ形式に慣れていないと思われる解答が目立った。
- [IV] 2文が同意になるように空所を補充する問題。受験生によって点数に開きが出ていたが、全体の正答率は7割を超え、高かった。
- [V] 整序問題。正答率は8割とよくできていた。
- [VI] borrow と lend の区別がついていない解答が多く、複数形の名詞がくるにもかかわらず、these にせず this を使用したり、また、目的語がないなど、

文の構造がとれていなかったりする解答が目立った。正答率は低く、4割程度。

- [VII] 英文が表すものを1語で答える形式で、平均的な出来であった。
- [VIII] 発音が同じで綴りの異なる語を答える問題であるが、[VII]と同様平均的な出来であった。
- [IX] 出題されている語の全ての発音がかかっていないと正解がえられない形式であったため、正答率は低く、3割程度にとどまった。
- [X] アクセントを問う問題。出題できる3音節以上の語は限られているせいか、出来はまずまずであった。

次年度入試 アドバイス

長文問題ではボリュームがあるものを限られた時間で把握する力が要求されます。日頃から、同じレベルで様々な分野の英文に触れるように心がけましょう。文法・語法問題では基本的なものが出題されることが多いので、中学1～3年の教科書で学習する文法をしっかりと復習し、身につけるようにしてください。教科書を何度も音読し、発音、単語の意味を正確に覚え、正しい綴りもできるようにしましょう。過去の問題も解いておくといよいでしょう。